

目でみるトレーニング 第2集 内科系専門医受験のための臨床実地問題

『medicina』編集委員会(監修)
岡崎仁昭(責任編集)

医歯大院教授医歯学教育システム研セ長／臨床検査医学
奈良信雄

知識を整理するのに最適の問題集

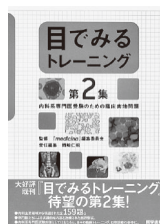
「試験が学習をプロモートする」のは、古今東西問わず、真実である。

もちろん試験には、可否を問う総括的評価としての性質が大きい。が、学習によって獲得した知識を整理し、足りないところを補う形成的評価としての意義もある。医師国家試験、専門医試験はいずれも可否を決定する試験ではある。しかし、それらをめざして学習することは、決して受験生に無益なものではなく、ステップアップに有用な手段にもなりうる。

さて、内科系専門医に求められるのは、患者を診察し、あらゆるデータを駆使して的確に診断し、適切な治療を行う臨床能力である。このため、内科系専門医試験では、臨床実地問題が極めて大きな意味を持つ。もちろん日常の診療活動で臨床能力を培うことが重要である。しかし、専門医として理解し、知っておくべき疾患は数多く、それらの疾患すべてを日常の診療活動で経験できるとは限らない。そこで、代表的な症例集をひも解き、自らが主治医になって診断し、治療方針を決定する疑似訓練も必要となろう。

雑誌『medicina』に連載された「目でみるトレーニング」は、内科系専門医をめざす医師にとって、格好の学習教材といえる。専門医として診療するに当たって重要な症例が掲載されており、知識を整理するのに有益である。このたび、自治医科大学の岡崎仁昭教授が責任編集された『目でみるトレーニング 第2集』は、『medicina』に連載された症例のうち、精選され、さらにブラッシュアップされた書物である。視覚情報がふんだんに取り入れられ、また適切な問題と解説がわかりやすく解説されている。知識を整理し、かつ最新の知識を得るのにも有用である。

内科系専門医をめざす医師だけでなく、医師国家試験の準備にも有用である。多くの専門医受験者、医学生にご利用いただきたいと思う。



●B5/頁 368/2013 年
本体 6,000 円＋税
[ISBN978-4-260-01761-9]
医学書院 刊(Tel 03-3817-5657)